

平成26年度 事業報告

当協会は、公益財団法人への移行（H25.4.1）に伴い、「がん検診事業」「指定管理受託事業」「法人の体制再構築」などについて、今後5年間の事業展開のためのガイドラインとしての中期事業計画を作成（H24年度）し、目標の達成のための事業実施計画を作成（H25年度）しました。

平成26年度は、中期事業計画に基づく本格的な事業展開のスタートの年と位置付け、積極的な事業推進を行いました。がん検診および健康診査事業につきましては、精度管理向上に取り組むとともに、検診の重要性、必要性を訴えながら、受診者拡大と受診率の向上に努めてきました。また、健康・体力・生きがいづくり事業につきましては、けんこうスポーツセンターを活用した健康づくり事業、生きがい交流センターを活用した生きがいづくり事業を積極的に実施し、利用者の増加に努めるとともに、健康の森3施設の機能を一体活用した連携事業を実施しながら、総合的なサービスの提供に心がけ、一層の利用者拡大に努めてまいりました。また、組織一体となった広報に努め、メディアの活用やキャンペーン事業などで、がん検診の普及啓発および健康の森施設のPR活動を実施してきました。

1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づく、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣や医療機関等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取り組むとともに、必要な情報の提供等を行った。

（1）主な中期事業計画の取組み

ア がん検診事業

○受診者拡大（中期事業No.2）

小規模事業所、市町等への受診促進を働きかけ、受診者の拡大を図った。

事業経費 903千円

- ・おためし大腸がん検診（27事業所、788人受診）
- ・休日レディース出前検診（29回、乳がん 636人、子宮がん 595人受診）

○機器の導入（中期事業No.23）

機器更新等により検査精度の向上を図った。

事業経費 35,420千円

- ・乳房X線検診車デジタル化（2台分） 24,214千円
- ・乳腺エコー装置導入 9,396千円

○大学との合同研究（中期事業No.28）

がん予防の推進および子宮がん検診の精度向上に努めた。

- ・HPV研究についての協力体制づくり

イ がんに関する広報事業、がん征圧キャンペーン事業（中期事業No.13,14）

がん検診の重要性・必要性について幅広い広報を行った。

事業経費 4,881千円

- ・がん検診受診者拡大啓発キャラバン（4/9,10,17市町）
- ・アグネス・チャンによる講演（4/26、フェニックスプラザ、250人参加）
- ・ピンクリボンキャンペーン（10/1,2、アオッサライトアップ等）

ウ IT推進事業（健康診査事業）（中期事業No.51）

業務の効率化を図るためのシステムを整備した。

事業経費 2, 117千円

- ・ 自宅採尿キッドシステム 1, 431千円
- ・ 採血バーコードシステム 686千円

エ がん患者サポート事業（中期事業No.12）

がん患者とその家族、介護者等の心身の健康と社会生活の支援のための体制づくりとサポートを行った。

事業経費 20千円

- ・ がんサロンの開設（ケア帽子作成、寄付等、12回、27人参加）

（2）がん検診事業

集団による胃・大腸・肺・子宮・乳の各がん検診、医療機関における胃・大腸・肺・子宮・乳各がん個別検診を実施した。

受診者数は、193, 593人で前年度と比較して1%の増加となった。

がん検診実施状況

項目		26年度	25年度	比較増減	比較増減率 (%)	
合計	集団	地域	131,051	132,852	△1,801	△1.4
		職域	6,215	6,417	△202	△3.1
	個別	56,327	52,466	3,861	7.4	
総合計		193,593	191,735	1,858	1.0	

（3）がん検診受診勧奨事業

県内11市町のがん検診の未受診者を対象に電話等で受診の勧奨を実施した。

26年度実績：35, 159人 25年度実績：27, 118人

（4）健康診査事業（県民健康センター）

生活習慣病予防健診を主体とした健康診査を実施した。

26年度実績：4, 969人 25年度実績：4, 779人

（5）無料健康相談・無料健康講座事業（県民健康センター）

一般県民を対象に県民健康センターや生きがい交流センターで健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施した。

26年度実績：671人 25年度実績：687人

（6）啓発・キャンペーン事業

ア がん征圧月間（9/1～30）・結核予防週間（9/24～30）の取組み

他団体や企業との連携協力による、がん征圧月間広告等の掲示やパネル展開催等のほかマスコミを利用した広告、広報活動を実施した。また、がん征圧月間ポスターや結核予防ポスター等に関係機関へ配布し、結核予防週間（9/24）には、福井駅で街頭キャンペーンを実施、チラシ等を配布し活動の理解と協力をお願いした。

イ 県、市町等との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェア等（3市1町）、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力した。

ウ 日本対がん協会グループ福井県支部の活動

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 ふくい の開催

ふくい健康の森で、9月14、15日にがん患者、家族、支援者等で構成されたチームが多数参加し、盛大に開催された。

参加チーム : 19チーム

参加者 : 556名 (サバイバー : 91名 ケアギバー : 465名)

寄付額 : 509,170円

エ 講演会・研修会への講師派遣

市町、企業等が開催する講演会・研修会に講師として医師を派遣し、がん検診および健康づくりに関する普及啓発を行った。(24回派遣)

2. 健康づくり・体力づくり・生きがいがづくり推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいがづくりを一体的に推進するための各種教室・講座等の開催や施設の提供を行い、大人から子供までの幅広い年齢層の利用があった。

(1) 主な中期事業計画の取組み

ア 個別運動指導事業（2拠点連携事業）（中期事業No.29）

県民健康センターとスポーツセンターの連携により、受診者の体力づくりと生活習慣病予防に努めた。

- ・スポーツCの減量講座参加者に対し、県民健康センターでのメディカルチェックコース・効果測定コースの受診勧奨の実施（15人受診）
- ・県民健康C受診者へ医師等の働きかけにより、減量講座への受講勧奨の実施（4人受講）

イ 体力づくり教室事業（2拠点連携事業）（中期事業No.31）

生きがい交流センター利用者にけんこうスポーツセンターの運動教室への参加を促し、利用者増を図った。

事業経費 810千円

- ・動作解析システム機器導入
- ・生きがい交流Cで動作解析機器を使った体験測定を実施（3回、135人）し、生きがい交流C利用者にスポーツCの利用を促進

ウ 再来者（リピーター）拡大事業（中期事業No.40）

顧客要望に対する的確なサービス提供を行いリピーターの拡大を図った。

事業経費 231千円

- ・生きがいCにて回数券の特別販売週間（5回）を設定、購入者へ特典（タオル等）（4,303冊販売）

(2) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）

生涯を通じた積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立をめざした、リラクゼーション教室、ヘルシー栄養教室等の開催や地域リハビリテーション事業（地域支援事業）、リハビリ公開講座等の運動障害回復訓練事業を実施した。

26年度実績：4,183人 25年度実績：5,243人

(3) 運動プログラム指導事業（けんこうスポーツセンター）

個人の健康づくりへの支援にきめ細やかなアドバイスを送るため、個別運動プログラムによる指導や、体力テストおよび3か月減量講座等を実施した。

26年度実績：9,064人 25年度実績：6,811人

(4) 生きがいがづくり推進事業（生きがい交流センター）

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいがづくりに取り組めるよう、高齢者いきいきフェアをはじめ、生きがい創作講座、親子チャレンジ講座、文化講座等を開催するとともに、ふれあいコンサートや似顔絵展を行い、利用者にやすらぎの場を提供した。

26年度実績：11,228人 25年度実績：12,845人

(5) 体力づくり教室事業(けんこうスポーツセンター)

様々な年齢や体力に合わせた、エアロビクス、アクアウォーキング、太極拳等の健康教室および初・中級者向けのテニス教室や水泳教室を開催するとともに、人気度の高いヨガ教室等利用者ニーズに対応した教室を開催し、体力づくりの実践指導を行った。

26年度実績：53,977人 25年度実績：54,265人

(6) 施設の提供事業

ア 県民健康センター

健康の増進に関する会議や研修等に会議室等の施設を提供した。

26年度実績：1,033人 25年度実績：1,300人

イ けんこうスポーツセンター

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等屋内外の各種運動施設を効果的に活用し、子供から大人までの幅広い利用者を対象に、楽しみながら運動を実践できる場を提供した。

利用者は252,558人で前年度と比較して7.8%の増加となった。

利用状況

内 容	26年度	25年度	比較増減	比較増減率 (%)
けんこうスポーツセンターおよび温水プール	202,158	185,285	16,873	9.1
健康スポーツ公園	50,400	49,100	1,300	2.6
計	252,558	234,385	18,173	7.8

ウ 生きがい交流センター

「健康の森温泉」として、屋内外に季節感を演出し、入浴に関する情報提供を充実させるなど、健康の森3施設の連携をアピールすることにより他の施設との差別化を図り、ここからからだの健康づくりの場を提供するとともに、会議、研修等の場として交流ホール、ふれあい研修室等の施設を提供した。

利用者数は161,132人であり、前年度と比較して0.4%の減少となった。

利用状況

内 容	26年度	25年度	比較増減	比較増減率 (%)
健康の森温泉	153,954	153,799	155	0.1
交流ホール等	7,178	7,915	△737	△9.3
計	161,132	161,714	△582	△0.4

3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行った。

(1) 主な中期事業計画の取組み

ア 健康フェア開催事業（中期事業No.44）

健康の森の存在をアピールするため、幅広い年齢層を対象にしたイベントを開催した。

事業経費 508千円

- ・サマーフェスティバル（7/13、県民C、650人参加）
- ・利用者感謝デー（10/19、スポーツC、964人参加）
- ・利用者感謝デー（3/8、生きがいC、1,177人参加）

イ お客様第一運動事業（中期事業No.52）

ふくい健康の森の顧客動向を分析し、迅速に顧客ニーズの対応を図った。

- ・講座等にかかるアンケート調査の実施

ウ 広報事業（中期事業No.55）

組織一体となった広報活動を行い、迅速で確実な情報を発信した。

事業経費 6,727千円

- ・協会の広報番組の作成、放送
- ・マスコットキャラクターを活用した広報活動

(2) 研究・研修事業

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術のより一層の向上を図るため、各部位別研究会等を開催し、研究成果を発表した。

26年度実績 胃・大腸検診研究会：6回

肺がん検診従事者研修会：3回

マンモグラフィー検診研究会：6回

(3) 広報活動事業

ア 情報紙等の発行

機関紙“健康の森通信”（年4回発行、10,000部/回）の内容を充実強化するとともに、健康の森を県民の健康づくりの発信地として情報提供を行い、協会のイメージアップを図った。また、マスメディアを使った広報を行い、ピーアールを実施した。

イ ホームページ等による情報提供

ホームページに新しい情報を随時更新して掲載するとともに、メールマガジンの配信により、県民への情報提供の強化と協会運営の透明化を図った。

4. 事業報告附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項：なし